

## 新型コロナウイルス感染症に関する調査 院長

新型コロナウイルス (2019 n-CoV) 感染症 (COVID-19: 以下コロナ感染症) が全国に広がり、ついに仙台市でも感染者が確認されました。2月28日に北海道で非常事態宣言が出され、2月29日には安倍総理の記者会見がなされ、3月2日から臨時休校が始まりました。

当院ではお母さん方が持つコロナ感染症に対する理解、不安、さらには疑問を拾い上げ、不安心配の解消に結びつけるためアンケートを行いました。アンケートは「新型コロナウイルス感染症に関する調査」で、調査期間は2月20日から28日、427人から回答がありました。解答と解説については、クリニック Facebook ページとブログ「こどもクリニック四方山話」で紹介していますが、改めて紙面で取り上げることにしました。(全ての結果についてはQRコードで読めます)



### 新型コロナウイルス感染症に関する調査

設問：相談・受診の目安の「発熱等の風邪症状があるときは、学校や会社を休み外出を控える。」はどう考えますか？

回答：休む 40.4%、状況による 54.9%、休まない 4.7% でした。

設問の意味：紹介した押谷教授のコメント「ウイルスに感染した、もしくは感染したかもしれない人が最大限の努力をして他の人に感染させないようにすることである」があります。

この感染症は誰がかかっているのかもわからないし、病院へ行っても診断はできず、治療法もないのです。かかっているかわからない以上、他人へうつす可能性は誰にでもあり、誰でも感染する可能性があるのです。

それを防ぐ唯一の方法が休むことです。我々医師は医療機関が感染源になることも恐れています。軽症感染者が紛れ込み濃厚接触となる医療機関を介して感染が拡大の可能性も出てきます。

ですから休まないという選択はなく、状況によるという選択肢もないはずで、休むことの意味を理解して、そして不安だけで医療機関を受診することも避けなければなりません。かと言っても受診の目安となる症状を参考に経過を見極め、病状が進行する時、特に高齢者、持病をお持ちの方は状況に応じて受診してください。

軽症者で医療機関が溢れてしまうと、本当に積極的治療が必要な重症者に手が回りにくくなる危険性もあります。

今重要なことは感染を広げないこと、重症者に早く対応して一人でも多くの命を救うことに尽きます。

設問：相談・受診の目安の「風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方はコールセンターに電話」となっていますが？ (大人)

回答：4日で電話する 46.7%、4日未満で電話してみる 32.5%、電話しない 20.8% でした。

設問の意味：前回は「この感染症は誰がかかっているのかもわからないし、病院へ行っても診断はできず、治療法もないのです。かかっているかわからない以上、他人へうつす可能性は誰にでもあり、誰でも感染する可能性があるのです。」と解説しましたが、軽症であれば様子を見るのが望ましいという意味です。

設問：電話しないと答えた方 (大人)

回答：かかりつけを受診する 57.7%、休日診療所を受診する 0.9%、かかりつけ医に電話する 32.7%、休日診療所に電話する 0.0%、やっぱりコールセンターに電話する 7.7% でした。

設問の意味：電話しないと回答したうち約60%がかかりつけ受診と答えていました。当然のこととは思われますが、病状や周囲の状況 (家族や集団) で怪しい又は不安な場合には、事前に電話して受診してください。特に気になることがあれば、やはりコールセンターに電話するのも1つの方法です。

設問：コロナ感染症の怖さは、どの程度ですか？

回答：すごい怖い 25.7%、怖い 39.8%、少し怖い 31.7%、怖くない 2.8% でした。

設問の意味：この質問は回答者のコロナウイルスに対する恐怖心を評価するものです。確かにこの感染症は怖いものでしょう。しかしながら本当の怖さを知ることによって対応や行動が変わるかもしれません。

現在まで得られている小児のデータを示します。

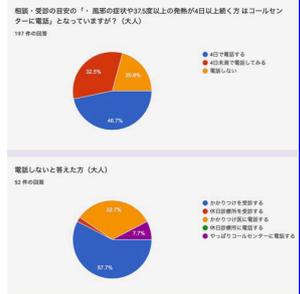
・コロナ感染症で中国で入院した1歳未満児。

内容：2019年12月8日から2020年2月6日までに中国でCOVID-19感染と診断されたすべての入院中の乳児 (28日から1歳) は9人。7人が女児、2人が男児。全てが家族内感染。9人の乳児のいずれも、集中治療や人工呼吸器を必要とせず、深刻な合併症もなかった。

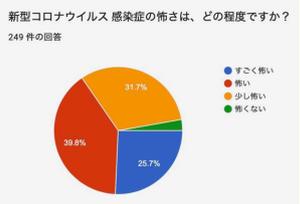
・コロナ感染症で深圳市で入院した34例の小児の臨床所見と疫学的特徴

内容：2020年1月19日～2020年2月7日までにPCRでCOVID-19と確定した深圳市入院した小児34人。14人が男児で20人が女児。年齢中央値は8歳11ヶ月。22人 (65%) が典型的COVID-19の病型で、9人 (26%) は軽症、3人 (8.8%) が無症候性だった。重症例、重篤例はなかった。よくみられた症状は発熱 (17人、50%)、咳嗽 (13人、38%)。全例回復して退院。

これが全てではありませんが、小児での重症例はなく、多くは軽症で済むことが示されています。



相談・受診の目安の「発熱等の風邪症状があるときは、学校や会社を休み外出を控える。」はどう考えますか？ (回答者またはパートナー)  
193件の回答



もう既に私たちの周囲には新型コロナウイルスが潜んでいる可能性が高いと思っています。軽症者から医療機関を介して流行が拡大することを心配しています。ここで言いたいのは、新型コロナウイルス感染症を侮ってはいけませんが、心配だけで慌てて医療機関を受診しないこと。さらに症状があっても軽ければ、自宅で様子を見るようにしましょう。



設問：新型コロナウイルス感染症はどこまで広がっていると思いますか？

回答：国内 37.6%、県内 29.3%、市内 24.9%、区内 4.1%、隣 2.4%、町内 1.7%でした。

設問の意味：この質問はどこまで新型コロナウイルス感染症が忍び寄って来ているかという心配を調査するものです。

さて本当はどこまで広がっているのでしょうか。2月28日現在、感染確認数は210人（うち無症候感染者19人）、20都道府県で確認されています。中国武漢で41例発生し日本で1例目が確認された時点（1月14日）直後の講演会で、東北大学微生物学押谷教授は「既に日本に入っている可能性が高く、近いうちに流行が拡大すると」述べていました。

韓国（1595人）やイタリア（400人）では週単位で激増しているにもかかわらず、日本では第1例以後1.5ヶ月を経過しているのに210人です。中国を含めた他国の増加状況と比べると日本での増加は少ないと思えるかもしれません。確かに国によって感染症に対する考え方、衛生や清潔観念が異なることに由来しているかもしれません。もっと重要なのはどれだけの症例の検査ができるかということです。韓国では5,000件/日、イタリアも数多くの例を検査しています。

話は元に戻りますが、それではどこまで感染が広がっているのでしょうか。国民全員を検査すれば明らかになりますが、もちろん不可能です。検査数で比較することより、世界的拡大により、国によっては深刻な状況になっている点を考えれば、もう隣まで新型コロナウイルスは押し寄せてきていると考えるべきでしょう。

さてPCR検査に関しては様々な意見があります。もっと検査件数を増やしてほしい、誰でも検査できるようになってほしい。確かに正論ですが、本当にそれでいいのでしょうか。検査をすればするほど陽性者が止めどなく出てきます。新型コロナウイルス感染症の多くは軽症者で、その一部の人々が重症化することが問題になります。2009年新型インフルエンザ流行時に小児科診療所医療従事者の感染調査を行い、約20%が無症候感染者、約50%が軽症感染者という結果が出ました。今後検査体制が増強されたとしてもPCR検査を条件なしで行うことはできません。さらに陽性になった人の扱いをどうするか、陽性者が出たら周囲を含めて濃厚接触者としたなら、社会・経済活動は本当に止まってしまうます。現在北海道が緊急事態宣言を行い、3月からは小中高校の休校が始まります。これだけでもやりすぎと不平不満を持つ人が多い中、そんな発言をしている人の中には誰でも検査できできる体制が望ましいと訴える人がいます。もう隣に新型コロナウイルスが隠れているのですから、検査が混乱に拍車をかけるということも理解しておきましょう。そして最も重要なことは見つけても治療法がないということです。軽症者にとっては自分に対するメリットはなく、メリットといえば重症化の可能性のある人（高齢者、基礎疾患）に対してなのです。

もう既に私たちの周囲には新型コロナウイルスが潜んでいる可能性に触れましたが、先程仙台市で新型コロナウイルス感染者が確認されました（報道発表 2.29 9:00）。

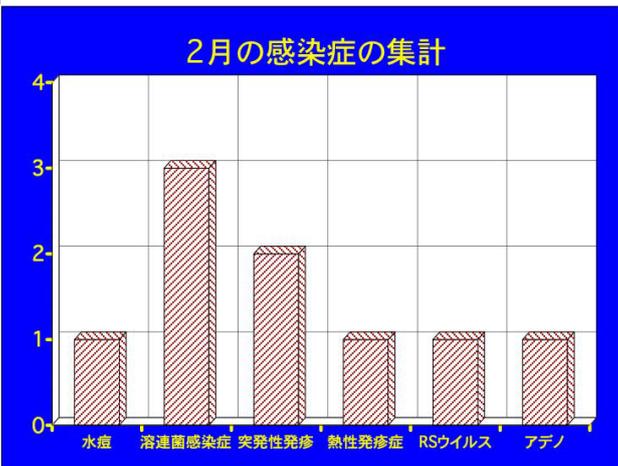
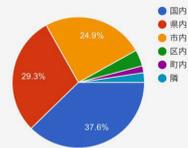
今求められている事は、感染の広がりを抑えることと、一人でも多くの命を救うことに尽きます。この点については、「新型コロナウイルス感染症の休校に関して」も読んでください。

繰り返しになりますが、新型コロナウイルスは、もう隣までできています。非常事態を乗り切るためには、何かをしなければなりません。目的が何かを考えて行動しましょう。

「新型コロナウイルス感染症 ～市民向け感染予防ハンドブック」：QRでダウンロード⇒  
東北医科薬科大学特任教授 賀来 満夫先生監修

新型コロナウイルス感染症はどこまで広がっていると思いますか？

417件の回答



インフルエンザは減少しB型が出ていますが、多くはありません。特にこの季節に流行している感染症はありません。先日東南アジアから日本に来ている家族4人が（大人2人、子ども2人）が発熱と咳で受診。一人目インフルエンザ検査陰性、二人目も陰性と、だんだんコロナ感染症かと思ったところ、結局はアデノウイルス感染症でした。もちろん全員問題なく回復しました。こんなケースもあり緊張気味の毎日です。

### Mail News, Facebook の紹介

Mail News は800人を越えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBをどうぞ。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomoclinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

### 編集後記

2か月連続でコロナウイルス感染症を取り上げました。先月号でも流行が拡大すると書いた通り、急速に拡大して北海道では非常事態宣言が出されました。安倍総理も対策を立て、学校の臨時休校を要望しました。様々な批判がありますが、どんな対策をとってもとらなくても、批判されます。どうせ批判されるのなら、新しいことをやるべきです。流行の拡大を抑え、一人でも多くの命を守ることに尽きます。



新型コロナウイルス感染症に関する一般電話相談窓口（コールセンター）  
☎ 022-211-3883 受付時間 9:00～21:00 毎日